



鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています。

# とばし教育委員会だより

2017.9.1 第11号



## 手づくり絵本講習会「世界でひとつだけの絵本をつくろう」

市立図書館では8月1日、4日に「手づくり絵本講習会」を開催しました。1日目は表紙の作成と本の中身を書き、2日目は製本を行いました。子どもたちは順調に作業を進めることができましたが、表紙の飾りつけになると、「どんな飾りにしようかなあ」、「題名はどうしよう」という声が…。しかし、講習会が終わってみれば、世界でひとつだけの素敵な絵本が完成しました。8月11日から20日には作った絵本のミニ作品展も開催しました。



# 鳥羽の学校自慢

8 神島小学校  
9 神島中学校

市内には、小学校8校、中学校5校、幼稚園1園があります。

児童・生徒数は減少していますが、どこも明るく活発な学校ばかりです。

今回は、学校(園)長に、各学校それぞれの目標や特色、自慢を語っていただきました。



- 児童数(人)
- 学級数(学級)
- 職員数(人)

※平成29年7月末時点



## 1 鳥羽小学校

203 11 19

今年度は、「自律・自立」「自主・主体」「自信」をキーワードに、生活・学習規律の定着と自ら考え、対話し、判断・行動・表現できる子ども達をめざして、「チーム鳥羽小学校」で取り組んでいます。



校長 柴原 豊彦

## 2 答志小学校

66 7 13

島の豊かな自然と温かい人情の中で育ち、素直で明るい子どもたち。地域の強力な協力の中、みんなが一丸となって、「がいええ答志小」で「生きる力」を身につけた子の育成に取り組んでいます。



校長 坂下 吏

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。今回は、7月1日に就任した小竹教育長の登場です。さあどうぞ！

## チーム鳥羽 そこが聞きたい 第10回



こたけ かつし  
小竹 篤

鳥羽市教育長。昭和53年に弘道小学校教員に採用され、これまでに教育委員会学校教育課長、鳥羽小学校校長、鳥羽東中学校校長などを歴任し、今年7月1日に教育長に就任。最近2人の孫が生まれ、顔がほころびっぱなしの61歳。

## とばひとく鳥羽は人なり

新生鳥羽市教育委員会が掲げたスローガンは、「鳥羽は人なり」(略してとばひと)。町づくりの基盤は人づくりだという強い思いです。

まずは、笑顔と挨拶。人には親切に接したい。鳥羽は温かいところだったと、国内外の観光客に感じてもらいたい。

ごみは捨てない、落ちていれば拾う。鳥羽はきれいで安全なところだと胸を張りたい。

老若男女、元気に運動や文化に親しみ、人々が生き生きと暮らすところになりたい。

淡々黙々と仕事にいそしみ、真面目で勤勉な人々が感謝され、尊敬される。そんな風土が根付くところであってほしい。

自分が好き。友達が好き。鳥羽が好き。鳥羽の未来に積極的に関わっていかうとする市民を増やしたい。

このようにとばひと運動がしっかりと根付く土壌となる幼稚園、小学校、中学校の学校教育、そして地元高校との連携は重点課題です。

また、生涯学習講座や市立図書館、運動施設の利用者数は、市民の活力を測る一つのバロメーターです。施設・設備・内容の充実を図り、より活動的な市民を増やします。

さらに輝き続ける鳥羽の未来のために、市民の皆さんと共に歩んでいきたいと願っています。

### 3 菅島小学校

✏️ 21 📏 4 📦 10

何ごとにも「挑戦」できる「明るく元気な」子どもたちです。道徳の教科書にも載った「島っ子ガイド」の取り組みで、コミュニケーション能力を磨き、菅島の魅力を伝えていきます。



校長  
藤井 英一

### 4 加茂小学校

✏️ 135 📏 7 📦 14

挨拶の花、感性の花、成長の花、みんなの花という『4つの花を咲かそう』をキャッチコピーに子どもたち、職員ともに取り組んでいます。今年は縦割り班掃除、全校朝活、全校遊び等の異学年交流にも力を入れ、一人ひとりのパワーアップを図っています。



校長  
福井 光生

### 5 安楽島小学校

✏️ 230 📏 12 📦 20

基本的な生活習慣を確立し、読書活動を充実させています。学力、体力とも大きく向上しています。挨拶、掃除がしっかりでき、仲間と共に育ち合う、心豊かな子どもたちを育てていきます。



校長  
服部 佳彦

### 6 鏡浦小学校

✏️ 30 📏 4 📦 9

鏡浦小学校の1日は、子どもたちの元気な挨拶で始まります。朝学び、全校スピーチ、学習規律の定着、自ら考え表現し学び合う授業の確立をめざして、全校体制で取り組むチーム鏡浦！子どもたちはすくすく育っています。



校長  
笠松 誠

### 7 弘道小学校

✏️ 79 📏 7 📦 13

明るく、積極的な子どもたちです。縦割り(異学年)班活動で6年生がリーダーとして活躍し、1～5年生も笑顔があふれる毎日です。よく学び、思いやりをもち、体をきたえる子を育てていきます。



校長  
小野 礼子

### 8 神島小学校

✏️ 22 📏 4 📦 8

教育目標は、豊かな心と強い身体をもち、確かな学力を身に着けた神島の子どもを育てること。島っ子太鼓に神島っ子ガイド、スポーツ面でも大活躍。そのパワーは22人の少人数を感じさせません。



校長  
倉田 正義

### 10 鳥羽東中学校

✏️ 272 📏 10 📦 25

「豊かでたくましく生きる市民の基盤をつくる」をめざし、人権教育を基盤に、学力向上と生徒活動の充実に取り組みます。市内4小学校から、様々な通学手段を使って生徒は登校していますが、日々、生き生きとした生徒のあいさつに元気をもらっています。



校長  
池田 榮

### 9 神島中学校

✏️ 3 📏 2 📦 8

神島小中は併設校としてスタート。9カ年を繋ぐ教育に小中職員が総力をあげて取り組みます。中学生はわずか3人ながら、神島中の伝統と神島町の行事を支える大きな力となって頑張っています。

### 11 答志中学校

✏️ 53 📏 3 📦 11

教科学習・ふるさと学習・自問学習の相乗作用を土台として、ふるさとを大切に、自信と誇りを持って、自らの生き方を主体的に切り開いていく生徒の育成をめざして教育活動を行っています。



校長  
石野 國昭

### 12 加茂中学校

✏️ 83 📏 3 📦 12

生徒達が主体となり、本校の伝統である『あいさつは加茂中の宝』のバージョンアップや、生徒会活動の新しい取り組みなど、伝統の継承と改革を融合させた取り組みが生徒たちの手で行われています。



校長  
野村 睦

### 13 長岡中学校

✏️ 44 📏 3 📦 11

「自信と誇り、つながりとやる気」をモットーに、地域との連携を大切にしながら、何にでもまじめにしっかり取り組む生徒の姿が清々しいです。「小さな学校だからこそ」の取り組みを大切にしたいです。



校長  
濱地 圭司

### 14 かもめ幼稚園

✏️ 54 📏 3 📦 7

自ら選べる遊びの環境や絵本の読み聞かせを大切に、栽培や生き物との触れ合い、野外体験にも力を入れています。一人一人に合った支援を、今大切にしたことを職員全員で考え合っています。



園長  
上村 裕子

## 鳥羽から世界へ「日々是精進」の言葉を胸に

鳥羽・答志ジュニアレスリングクラブ

鳥羽市には、「鳥羽・ジュニアレスリングクラブ」と「答志ジュニアレスリングクラブ」があり、子どもたちが日々の練習に励んでいます。日頃の練習や大会参加をはじめ、ジュニア時代から視野を広げ、協調性やコミュニケーション能力等を養うために、県内外のチームとの合同練習にも積極的に参加しています。そして、このような取り組みから高校や大学などでも活躍している選手、世界の舞台で活

躍する選手も輩出しています。

今後も鳥羽から世界へ羽ばたく選手の育成を目指し、創設者藤瀬氏の信念であった「日々是精進」「和」の精神を忘れず、取り組みを続けていきます。



## かどやで寺子屋

子どもたちにとって楽しい夏休みが終わりました。友だちと遊んだり、家族で旅行に出かけたり、宿題に追われたり、子どもたちはどのように過ごしていたでしょうか。

鳥羽四丁目にある「鳥羽大庄屋かどや」では、7月21日から8月10日の期間中、クーラーのきいた座敷などを宿題や勉強の場として子どもたちに開放しました。「かどや」が平成25年から始めた取り組みで、今年で5回目です。

子どもたちは、友だち同士で誘い合うなどして、時間になると「かどや」に集まり、まるで寺子屋のように、趣のある広

間や座敷、窓辺など、思い思いの場所で楽しく勉強に取り組んでいました。

主に利用していたのは小学生で、1日あたり約20名の子どもたちがこの寺子屋「かどや」を利用し、涼しく快適な環境で夏休みを過ごしていました。

寺子屋の最終日には、鳥羽水族館の杉本学芸員による特別講座として、海の生物などについての楽しいお話もありました。



## 愛情が詰まった非常持ち出し袋

安楽島小学校の取り組み

安楽島小学校では、災害時の備えと防災意識向上のため、個人の非常持ち出し袋を設置する取り組みを行っています。

袋の中身は、一人一人に違いがあります。防災教育の授業などでは、子どもたちが班に分かれて「袋の中に何を入れるべきか」、「何があると便利か」、「避難するとき重すぎないか」などを考え、そしてそれぞれの子どもたちが、お家の方と相談して中身を決めていきます。

水、非常食、タオル、着替え、懐中電灯、笛、軍手、ハサミ、ライター、ティッシュペーパー、レジャーシートなどをはじめ、中には家族全員の写真や親からの「じしんのときよむおてがみ」が入っている子もいます。

学校では、定期的に袋の中身を整理しながら使い方を確認したり、避難訓練では、実際にこの袋を背負っ

て行動したりするなど、非常持ち出し袋への関心を高め、その大切さを知ってもらう機会をつくっています。また、この非常持ち出し袋の取り組みをとおして、子どもたちだけでなく、家庭の防災意識向上にもつながるよう取り組みを進めています。



ご意見ご要望をお寄せ下さい